



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2015年12月11日

公立大学法人大阪市立大学広報室

生活科学シンポジウム

「超高齢社会における個人と地域の幸せとは何か」
を開催します

大阪市立大学大学院生活科学研究科は、平成28年2月13日（土）に大阪国際会議場（グランキューブ大阪）10階1003会議室にて、生活科学シンポジウム「超高齢社会における個人と地域の幸せとは何か」を開催します。

本学生活科学研究科は「人と人がつながり幸せを感じられる社会」を目指し、地域社会と連携して、学際複合的な研究と教育を行っています。現在、超高齢化社会における人口減少という未体験課題が進行しています。このような状況下で、私たちの生活環境はどのように変わっていくのか、働き方や健康など都市や地域でどのようなライフスタイルを選択すればよいか、それぞれをつなぐ取り組みとは何か、などを議論するとともに、これからの「幸せ」について考えます。多数の皆さまのご来場をお待ちしています。

記

1. 日 時 平成28年2月13日（土）午後13時～17時（開場：12時）
2. 場 所 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）10階 1003 会議室
アクセス：<http://www.gco.co.jp/access/>

3. プログラム

- 13時～ 開会あいさつ 西川 禎一（大阪市立大学大学院 生活科学研究科長）
13時10分～ 副学長あいさつ 宮野 道雄（大阪市立大学副学長）
13時20分～ 基調講演
内山 節（哲学者）

『豊かさはどこに生まれるのか ～都市と農山村の関係をとおして～』

島崎 謙治（政策研究大学院 教授）

『近未来の社会と生活 ～医療を素材として～』

- 15時20分～ パネルディスカッション
〔コーディネーター〕 岩間 伸之（大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授）
〔パネリスト〕 太田 佳美（佳豊庵）
川人 ゆかり（ローカルキャリアカフェ代表）
西山 進（和歌山県 企画部地域振興局過疎対策課長）
16時50分～ 閉会あいさつ

4. 費用 無料（申込不要）
5. 対象 どなたでも
6. 定員 300人（当日先着順）
7. 主催 大阪市立大学大学院生活科学研究科
8. 協力 大阪市立大学地域連携センター
9. 後援 大阪市、大阪市立大学生活科学部同窓会、大阪府社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会

◆研究科長メッセージ◆

超高齢社会の到来とともに各地域で様々な地域活性化の取り組みが行われています。環境が大きく変化する中で、私たちの生活はどのようなのでしょうか？ 近未来の生活をイメージしつつ、これからの社会や個人の「幸せ」と、それを支えるための新たな仕組みのあり方について、私たちと一緒に考えましょう！



生活科学研究科長
西川 禎一

【本件に関するお問合せ先】

生活科学研究科支援室 担当：溝渕
TEL：06-6605-2800 FAX：06-6605-3086
※問合せ可能時間（平日9時～17時）

メールでのお問い合わせの場合は
生活科学研究科 HP お問い合わせフォームをご利用ください。

<http://www.life.osaka-cu.ac.jp/index.html>





主 催 大阪市立大学 大学院 生活科学研究科

生活科学シンポジウム

HUMAN LIFE SCIENCE SYMPOSIUM

「超高齢社会における

個人と地域の幸せとは何か」

2016

2

13

土曜日

13:00 ~ 17:00

(12:00 開場)



大阪国際会議場

(グランキューブ大阪)

10階 1003(Cエレベータ)



内山 節 氏

「豊かさはどこに生まれるのか

—都市と農山村の関係をとおして—

Uchiyama Takashi

哲学者

島崎 謙治 氏

「近未来の社会と生活—医療を素材として—

Shimazaki Kenji

政策研究大学院大学教授

入場無料・申込不要

講師



内山 節

Uchiyama Takashi 哲学者

1950年東京生まれ。哲学者。40年あまり、東京と群馬県の山村、上野村との二重生活をしている。前立教大学教授。著書に『内山 節著作集』（全十五巻、農文協）の他に『「いのち」の場所』（岩波書店）、『自由論』（岩波書店）、『半市場経済』（編著書、角川新書）、『文明の災禍』（新潮新書）、『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』（講談社現代新書）などがある。



島崎 謙治

Shimazaki Kenji 政策研究大学院大学教授

1978年東京大学教養学部卒業、厚生省入省。千葉大学法経学部助教授、厚生労働省保険局保険課長、国立社会保障・人口問題研究所副所長、東京大学大学院法学政治学研究所客員教授等を経て、2007年から現職。博士（商学）。社会保障審議会専門委員。主な著作として、『日本の医療一制度と政策』（東京大学出版会、2011年）、『医療政策を問いなおす一国民皆保険の将来』（筑摩書房〔ちくま新書〕、2015年）、「The Path to Universal Health Coverage」（JICA、2013年）等がある。

プログラム

- 13:00～ 開会挨拶 西川 禎一（大阪市立大学大学院生活科学研究科長）
13:10～ 宮野 道雄（大阪市立大学副学長）
13:20～ 内山 節「豊かさはどこに生まれるのかー都市と農山村の関係をとおして」
14:20～ 島崎 謙治「近未来の社会と生活ー医療を素材としてー」
15:20～ パネルディスカッション
コーディネーター 岩間 伸之（大阪市立大学大学院生活科学研究科教授）
パネラー 太田 佳美（佳豊庵）
川人 ゆかり（ローカルキャリアカフェ）
西山 進（和歌山県 企画部 地域振興局 過疎対策課長）
- 16:50～ 閉会挨拶
17:00 閉会

会場

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

<http://www.gco.co.jp/access/>

京阪電車中之島線「中之島（大阪府立国際会議場）駅」

2番出口すぐ

JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分

JR東西線「新福島駅」3番出口から徒歩約10分

阪神本線「福島駅」3番出口から徒歩約10分

市営地下鉄千日前線・中央線「阿波座駅」から徒歩約15分

主催：大阪市立大学大学院生活科学研究科 協力：大阪市立大学地域連携センター

後援：大阪市、大阪市立大学生活科学部同窓会、大阪府社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会

